

聖心女子大学
2026年度 一般選抜(3教科A方式・B方式)
解答と講評

一般選抜3教科A方式 「国語」

一

【解答】

- 問一 (1) 過酷 (2) 静寂 (3) 車掌 (4) 疲弊 (5) 塗装
問二 (6) いしゆく (7) かいよう (8) いっし (9) がいろじゅ (10) はんりよ
問三 (一) A ① B ③ (二) A ③ B ②
問四 (1) ⑤ (2) ④ (3) ②
問五 (一) a ① b ② c ① d ⑤ (二) a ② b ② c ③ d ①
問六 ① 問七 ② 問八 ④ 問九 ④ 問十 ④

【講評】

出題された漢字は、ニュースや書籍などで日常的に使用されるものです。問一は、漢字を書く問題、問二は読む問題でした。問三から問六までは、国語の基礎力を確認する問題です。現代語の敬語、助動詞、動詞、慣用句の使い方や意味をしっかりと理解しているかを問いました。これらの使い方をきちんと理解して身につけておくことは、基本的なコミュニケーションの技術を活かすのに役立ちます。問七～問十の文学史の問題は、特定の時代に偏らず、さまざまな時代にわたって出題しました。文学史の問題は、雑学的な知識を問うているのではなく、日本の言語文化に対する理解を問うています。全体的によくできていましたが、文学史の問題にはやや正答率の低いものがありました。

二

【解答】

- 問一 a ② b ④ c ① 問二 ③ 問三 ①
問四 (一) 「探究」という～ることができる (二) 下の講評を参照
問五 方法論 問六 X ① Y ③ 問七 ③

【講評】

問一はこの文章の文脈に合う意味を選びます。問二、問三は直前・直後の記述をよく読み、それに一致する語や図を選びます。問四の(一)は、傍線部のすぐ後の「「探究」という言葉さえ出せば～自分が興味・関心があることに合わせて「探究」を都合よく解釈することができる」が正解。抜き出す箇所がずれているものが目に付きました。問四(二)は、傍線部に続く文(「すなわち、「探究」という～」)のほか、冒頭の第2段落(「しかし、そもそも～」)や、本文後半の「探究」に欠かせない要素とは何かという議論を総合して答えます。問五は

その議論のキーワードです。問六は図の中の矢印の形状と、「探究のプロセスが回っている」という記述に注目して考えます。問七は本文の内容に即さない記述を含んでいないか、選択肢を吟味しましょう。

三

【解答】

問一 A ① B ④ C ③ 問二 a ④ b ⑤ c ① d ②

問三 ア ① イ ⑥ ウ ⑤ 問四 (1) ① (2) ② (3) ① (4) ②

問五 絶え入りたまひぬ 問六 下の講評を参照 問七 ③ 問八 ⑤

【講評】

問一は基本単語と文法を確認し、問二と問三は文法の基礎を確認する問題です。基礎学習を大切にしてください。問四は敬語と文脈から正しく本文が読めているかを問いました。(1)～(4)すべてに尊敬語が使われており、光源氏か紫上が主語になります。問五は、紫上のことであることを読み取った上で、指示語の「かく」が指す内容を捉えるのがポイントです。よくできていました。問六は、女房たちの心情を読み取る問題です。女房たちは紫上の死後に残されたくない、紫上とともに死んでしまいたいと思っています。問七は「さりとも」という逆接の接続詞が使われていることと、推量の助動詞「め（「む」の已然形）」が使われていることから、光源氏が紫上の死を受け入れられず、もののけのせいを疑っている心情を読み取ります。問八は本文全体の内容理解を問う問題です。⑤は本文の「ただ推しはかるべし」が地の文であることに注意してください。これは語り手が読者に向かって察するように述べている表現です。正答率はあまり高くありませんでした。

一般選抜3教科A方式 「英語」

A方式の出題は例年通り大問3題で、そのうち2題は論説文、1題は会話文です。ある程度の長さの文章の要点を把握し、自分の考えを論理的に説明できる力が求められます。受験生の皆さんには、日頃から英語を自分の言葉として使うことを意識し、文脈の中で語彙や文法を正しく使用できるよう心がけてほしいと思います。

I.

【解答】

問1 ア ④ イ ② ウ ③ エ ①

問2 1 ① 2 ② 3 ③ 4 ①

問3 ④

問4 AIを搭載したロボットは、顧客との対話でも活用されている。

【講評】

本文は、生成 AI ロボットの進化と実用化の可能性、そして社会的課題をバランスよく論じた文章です。

問 1 は空所を文脈に合う適切な単語を選ぶ問題です。4 つの空所の中でアの pleased が最も正答率が低い結果となりました。had a look という形から空所には形容詞が入ることが分かり、後続の文でロボットが目玉焼きを作る様子を見て、満足していることが示されているため、pleased が適切です。問 2 は内容理解、問 3 は指示語 This の意味を問う問題で、直前の一文全体の意味の理解が求められます。問 4 の和訳は customer interactions の interaction (やりとり、対話) の意味が正しく捉えられていない解答が比較的多く見られました。

II

【解答】

問 1 ア ① イ ② ウ ③ エ ④ オ ①

問 2 (A) ③ (B) ② (C) ② (D) ③ (E) ① (F) ②

問 3 21) ① 22) ⑤ 23) ⑦ 24) ⑨ 25) ⑥ 26) ⑧ 27) ④ 28) ③ 問 4 ①

【講評】

日常会話文における慣用句や語法を問う問題です。問 1 は空所に適切な前置詞や代名詞を補充します。オ by の正答率が比較的低くなりました。これは その前の文で日本の人口が 14 年連続で減少し、昨年は “it fell by 890,000.” と述べられていることから、890,000 が減少した分の数値であるとわかりますので、by が適切です。

問 2 は語句の意味に最も近いものを選ぶ問題で、(A)を除き正答率は非常に高い結果でした。(A)の instead of は「～の代わりに/～でなく」という意味であり、rather than が最も近い意味になります。

問 3 は会話文の要旨を表す文の空所補充問題です。全体的に正答率にばらつきがありましたが、27) の動詞 mean では、increase を選択した解答が多く見られました。increase more space では more の意味が重複してしまう点に注意が必要です。

問 4 は主題として適切なものを選ぶ問題で、会話では人口減少の問題点だけでなく利点にも触れているため、A falling population has merits and demerits が正解となります。

III

【解答】

問 1 (A) enhancement (B) distraction (C) relation (または relationship, relatedness, relative) (D) maintenance (E) influential

問 2 (1) ① (2) ④ (3) ① (4) ③

問 3 (ア) ④ (イ) ② (ウ) ①

問 4 ②, ⑤

問 5 (Answers vary)

【講評】

この文章は、仕事中に音楽を聴くことが生産性に与える影響は人や状況によって異なることを論じています。

問 1 は派生語を書く問題で、maintain→maintenance, influence → influential が難しかったようです。派生語を正しく身につけることで、より質の高い英文を書くことが出来るようになります。日頃から文脈とともに名詞、動詞、形容詞、副詞といった品詞も意識して学習しましょう。

問 2 は文脈にあった語を選ぶ補充問題、問 3 は文の意味の理解を問う問題、問 4 は本文全体の理解に基づく正誤問題、問 5 は毎年出題される短いエッセイ問題です。積極的なコミュニケーションを行うためには、主張に対して具体的な理由を考え、それを英語で表現しようとする姿勢が重要です。日頃から英語に前向きに取り組む姿勢を大切にしてください。

一般選抜 3 教科 A 方式 「歴史総、日本史探究」

(I)

【解答】

問 1 ④ 問 2 ③ 問 3 ① 問 4 日米和親条約 問 5 箱館 問 6 ②

【講評】

日本の開国に関する問題です。アメリカ合衆国はなぜ幕末の日本に開国を迫ったのでしょうか。19 世紀半ばにはアメリカの領土は太平洋沿岸まで拡大し、数多くのアメリカ船が太平洋で捕鯨に従事していました。1848 年にメキシコから獲得した州についての問 1、太平洋におけるアメリカ船の活動目的についての問 2、外国船に対する幕府の方針転換のきっかけをたずねる問 3 は、日本史と世界史で正答率にやや差はあるものの、全体としてよくできていました。問 4 の 1854 年に日本とアメリカの間で締結された条約の名称は、資料 2 にヒントとなる「和親」の語も含まれていたため、わかりやすかったようです。問 5 の地名は条約締結時には「箱館」ですが、現在の表記である「函館」も可としました。問 6 は日米修好通商条約成立の経緯についての問題ですが、とくに日本史では正解が 8 割以上でした。

(II)

【解答】

問 1 NATO 問 2 ④ 問 3 ② 問 4-1 ゴルバチョフ 問 4-2 ② 問 4-3 ②

【講評】

冷戦に関する問題です。問 1、問 2 は現在の世界や日本の平和や安全に関わる問題を考

えるうえで重要な知識です。問3では、A(中ソ対立)を誤りとする①を選んだ誤答が多かったです。冷戦はアメリカを中心とする自由主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営の対立を基調とするものですが、同じ社会主義陣営に属するソ連と中国の間でも対立が起きていました。国際関係は単純ではないことを学びましょう。Bのプラハの春は民主化の動きに対して、ソ連軍などが介入し阻止した事件です。問4の資料に関わる問題は、しっかり読んだ人は正解にたどり着けていました。

(III)

【解答】

問1 (A) 五山 (B) キリシタン (C) 大内 (D) 義昭 (E) 文禄

問2 (a) ③ (b) ③ (c) ④ (d) ④ (e) ① (f) ① (g) ③
(h) ① (i) ④

問3 (1) イエズス会 (2) ③ (3) ①

【講評】

問1については(A)の正答率が低かったです。(B)については天草版でも正解としました。(E)については「文永」としたり「文禄」の「禄」を「録」とする誤答が目につきました。問2は(c)(f)(i)の正答率が低かったです。(i)の陸奥将軍府は建武政権の地方機関です。問3は選択問題の(2)(3)は全体として正答率が高かったです。なお問3の資料に出てくる「悪魔」は仏教を指しており、当時のキリスト教宣教師はそのように認識していたようです。

(IV)

【解答】

問1 (ア) 大御所 (イ) 東照宮 (ウ) 柳沢吉保 (エ) 正徳 (オ) 明六
(カ) 学校令

問2 (a) ③ (b) ④ (c) ④ (d) ② (e) ① (f) ③ (g) ①

問3 (1) 教育勅語(「教育に関する勅語」も可) (2) 明治

【講評】

記述式の設問では、(カ)の解答を「学制」・「教育基本法」とする解答が目立ちました。また、問3(1)の解答を「教育基本法」、(2)の解答を「昭和」(天皇)とする誤答が散見されました。「1890年」・「忠君愛国」という問題文のキーワードから正答が導き出せるはずで

す。
マーク式の間2は、正徳の政治を問う(c)と、徴兵令・新貨条例の説明に関する正誤の組合せを問う(f)正答率が比較的lowかったです。(c)については、①～③がいずれも正徳の政治で実施された政策です。(f)の(甲)は、徴兵令は国民皆兵が原則のため、士族に限定する説明が誤っています。(乙)の新貨条例は、正しくは、十進法の採用と、円・銭・厘

を単位とする新硬貨を鑄造するものです。よって、どちらも誤とする③が正答です。

一般選抜3教科A方式 「歴史総合、世界史探究」

(I)

【解答】

問1 ④ 問2 ③ 問3 ① 問4 日米和親条約 問5 箱館 問6 ②

【講評】

日本の開国に関する問題です。アメリカ合衆国はなぜ幕末の日本に開国を迫ったのでしょうか。19世紀半ばにはアメリカの領土は太平洋沿岸まで拡大し、数多くのアメリカ船が太平洋で捕鯨に従事していました。1848年にメキシコから獲得した州についての問1、太平洋におけるアメリカ船の活動目的についての問2、外国船に対する幕府の方針転換のきっかけをたずねる問3は、日本史と世界史で正答率にやや差はあるものの、全体としてよくできていました。問4の1854年に日本とアメリカの間で締結された条約の名称は、資料2にヒントとなる「和親」の語も含まれていたため、わかりやすかったようです。問5の地名は条約締結時には「箱館」ですが、現在の表記である「函館」も可としました。問6は日米修好通商条約成立の経緯についての問題ですが、とくに日本史では正解が8割以上でした。

(II)

【解答】

問1 NATO 問2 ④ 問3 ② 問4-1 ゴルバチョフ 問4-2 ② 問4-3 ②

【講評】

冷戦に関する問題です。問1、問2は現在の世界や日本の平和や安全に関わる問題を考えるうえで重要な知識です。問3では、A(中ソ対立)を誤りとする①を選んだ誤答が多かったです。冷戦はアメリカを中心とする自由主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営の対立を基調とするものですが、同じ社会主義陣営に属するソ連と中国の間でも対立が起きていました。国際関係は単純ではないことを学びましょう。Bのプラハの春は民主化の動きに対して、ソ連軍などが介入し阻止した事件です。問4の資料に関わる問題は、しっかり読んだ人は正解にたどり着けていました。

(III)

【解答】

問1-1 ② 問1-2 ② 問2-1 三圃農法 問2-2 ① 問2-3 ② 問2-4 ③
問2-5 テンプル騎士団 問3 魔女 問4 ③ 問5-1 ② 問5-2 ハプスブルク家
に対抗する政治的立場を優先したから 問5-3 ④

【講評】

ヨーロッパの中世・近世に発生した大規模な気候変動と社会の変化との関係に注目した設問です。概ね良くできており、特に問3の正答者は予想以上でした。ただ、問5-2、問5-3など、近世の複雑な国際関係についての踏み込んだ設問はやや正答率が下がりました。きちんと整理しておくと思います。

(IV)

【解答】

問1-1 ① 問1-2 ビスマルク 問1-3 ②と④ [順不同] 問2-1 フランス
問2-2 ② 問3 ケープタウン 問4 ① 問5 アフリカ連合 (AUでも可)

【講評】

(IV) はアフリカ分割を取り上げて、植民地主義に関する基本的な知識を問いました。問1-1の正答率は4割で、小国のベルギーがコンゴを支配したことはあまり意識されていなかったようです。一方、ベルリン会議の歴史的意义を確認する問1-3は総じてよく答えられています。風刺画を用いた問2も同様であり、ファショダ事件についてしっかりと理解できていることがわかりました。それに比べると、アフリカの戦後に関する問題は正解率が振るわず、問4では6割弱でした。

(V)

【解答】

問1-1 バルフォア宣言 問1-2 ④ 問1-3 ② 問2-1 各民族が自らその政治的運命を決定すべきという理念 問2-2 ③ 問3-1 ① 問3-2 国際連合
問3-3 ④

【講評】

(V) では第一次世界大戦以降のパレスチナをめぐる政治状況について問いました。記述式については、問2-1の民族自決の意味をたずねる問題の正答率が予想以上に高かったです。マークシート式については、問2-2がやや難しかったかもしれません。旧オスマン帝国領ではないアフガニスタンとパキスタンを除き、他国の委任統治領にならなかったバルカン地域を除けば、正解にたどり着けます。

一

【解答】

問一 (1) 掃除 (2) 傲慢 (3) 楽譜 (4) 模倣 (5) 鼓舞

問二 (6) いろつや (7) こうそく (8) こうてつ (9) ふくめん (10) まっしょう

問三 (一) A ② B ① (二) A ② B ②

問四 (1) ④ (2) ⑤ (3) ②

問五 (一) a ① b ② c ① d ⑤ (二) a ② b ④ c ① d ④

問六 ② 問七 ④ 問八 ④ 問九 ② 問十 ①

【講評】

出題された漢字は、ニュースや書籍などで日常的に使用されるものです。問一は、漢字を書く問題、問二は読む問題でした。問三から問六までは、国語の基礎力を確認する問題です。現代語の敬語、助動詞、動詞、慣用句の使い方や意味をしっかりと理解しているかを問いました。これらの使い方をきちんと理解して身につけておくことは、基本的なコミュニケーションの技術を活かすのに役立ちます。問七～問十の文学史の問題は、特定の時代に偏らず、さまざまな時代にわたって出題しました。文学史の問題は、雑学的な知識を問うているのではなく、日本の言語文化に対する理解を問うています。全体的によくできていましたが、文学史の問題にはやや正答率の低いものがありました。

二

【解答】

問一 ① 問二 ③ 問三 ④ 問四 ① 問五 ③ 問六 ③

問七 心の準備を～満足しない 問八 ③ 問九 ④

【講評】

長い文章ですが、難しい内容ではありません。問一は図の周辺の記事から判断しましょう。問二はアリの文章の直後に研究の面白さをまとめています。問三、問五は文章の理解度とともに語句の意味を問う問題です。問三は矛盾に気づくために最もふさわしい読み方を選びましょう。問五は本文中の「浅い理解」という表現がヒントになります。問四はBの文章の内容の矛盾がどこにあるかを考えます。問六は例文の直後の段落をよく読んでください。問七は少し先の段落に「誤情報に接したときに、メタ認知を適切に働かせるためには」とあります。よくできていましたが、文字数の制限を無視する解答が若干ありました。問八は「わからない」と把握しているのにメタ認知がうまく働かない場合について述べている部分を見つけましょう。問九は全体の論旨が理解できているかをみる問題です。

三

【解答】

問一 A ④ B ① 問二 a ⑤ b ③ c ② d ⑥ e ⑧

問三 ④ 問四 (1) ④ (2) ④ (3) ② (4) ② (5) ③

問五 ③ 問六 ① 問七 下の講評を参照 問八 ①・⑤ (順不同)

【講評】

問一は古文単語の、問二は文法のそれぞれ基本問題です。問三も文法の問題で、活用と接続の理解を問うものです。基礎学習を大切にしてください。問四は主語を問うもので、文脈の理解を確認しています。敬語の種類と、会話文の場合はそれぞれ誰の発言であるかに注目してください。問五は、「思はれざりけむ」の主語は「女房たち」であることを押さえた上で、「思はざりけむ」の意味を手がかりに「かかれ」が指し示す内容を読み解きます。問六は、「思へ」の主語が「大宮」であることを押さえた上で、大宮が夕霧を高く評価していることを読み取ってください。問七では、大宮が夕霧のことを雲居雁以上にかわいがっていることを押さえてください。問八は本文全体の内容理解を問うものです。②女房たちは臣下である夕霧との結婚に不賛成である、③涙を流しているのは雲居雁ではなく内大臣である、④大宮が容姿の美しさに言及しているのは雲居雁ではなく夕霧である点が、それぞれ誤りです。

一般選抜3教科B方式 「英語」

B方式は前年度同様、大問3題で、そのうち2題は論説文、1題は語法・文法を問う問題でした。マークシートで答える問題が多いですが、A方式同様、一定の分量の英文の要点を掴む力を養うとともに、基本的な語彙文法力を身につけておきましょう。

I.

【解答】

問1 (A) ② (B) ① (C) ① (D) ① (E) ③

問2 (1) ③ (2) ② (3) ②

問3 (ア) ④ (イ) ② (ウ) ②

問4 ④

問5 (A) turns または part (B) natural (C) learn (D) exchange

【講評】

この文章は、言語の最も重要な役割が会話であり、「順番に話す」という会話のルールは幼児期から身につけられ、大人とのやり取りの中で、語や文の使い方も自然に学んでいくことを具体的に説明しています。

問1は語の最も近い意味を選ぶ問題、問2の3題は空所補充問題で(3)の either の正答率が大変低くなっていました。父親と小さい娘 Sue との二人のやり取りとして「どちらも～ない」 without either of them ~が正解ですが、any と none を選んだ解答が多く見られました。文脈と文法の両方を押さえておく必要があります。

問3は適切な動詞の形を選ぶ問題、問4は省略された語句として適切なものを選ぶ問題で、比較的良くできていました。

II.

【解答】

問1 (A) ② (B) ① (C) ④, (D) ① (E) ① (F) ③

問2 (ア) ②, ④ (イ) ②, ④ (ウ) ③, ④ 問3 (1) ③ (2) ① (3) ②

問4 (a) ② (b) ② (c) ① (d) ① (e) ②

問5 低所得国の人々は、高所得国の人々と比べて、睡眠不足を経験する可能性が約3倍高かった。

【講評】

この文章は、地球温暖化による夜間気温の上昇が世界的に睡眠時間を短くし、健康や生産性へのリスクを高めていることを述べています。特に高齢者、女性、低所得国の人々への影響が大きく、睡眠不足による格差はさらに拡大すると研究は警告しています。問1は語彙問題、問2は文の中の語句の並べ替えで文法力を問うもの、問3は適切な前置詞を空所に補充するもの、問4は内容把握問題、そして問5は和訳です。正答率はばらつきがありました。内容把握問題は概ねよくできていましたが、適切な前置詞を選ぶ問題は正答率が低い傾向がありました。また問3(3)正解は条件を示すifですが、本文中にはifが2カ所あり、そのうち1つ目が空所補充となっている構造でした。和訳問題は～around three times more likely to experience～の部分が難しかったようで、“three times”を「3倍」ではなく「3回」としたり、“experience”を「経験する」ではなく、「実験」と書いていた答案が多く見られました。文脈を正しく理解することが求められています。

III.

【解答】

A. (1) ③ (2) ③ (3) ④ (4) ③ (5) ③ (6) ④ (7) ④ (8) ③ (9) ②

(10) ② (11) ① (12) ④ (13) ③ (14) ② (15) ②

B. (1) ① (2) ② (3) ② (4) ③ (5) ①

【講評】

文法・語法・慣用句に関する問題です。全体にこのセクションは難しかったようです。A(11) behind schedule, (14) contribute ~to…の正答率が低くなっています。意識して英語の慣用句、コロケーションを例文とともに学ぶ努力が必要です。

(I)

【解答】

問1 ③ 問2 ③ 問3 ① 問4 傾斜 問5-1 ① 問5-2 ③

【講評】

近代日本の産業化やエネルギーに関する問題です。問1は財閥である三菱に関する基本的な知識を問いました。各財閥について知識を整理しておきましょう。問2はワシントン会議の重要決定事項です。問3は正答率が低かったです。1941（昭和16）年は日本が米英などとの戦争に突入した重要な年です。①の国家総動員法はそれより前の日中戦争の拡大・長期化に対応するために1938年に制定されたものです。戦争拡大の流れと動きを押さえておいてほしいです。問4の傾斜生産方式は、敗戦後の日本の復興を考える際に重要な用語・概念です。問5の資料に関わる問題は、しっかり読んだ人は正解にたどり着けていました。

(II)

【解答】

(A) ⑤ (B) 問1 ④ 問2 ④ 問3 ② 問4 ④ 問5 ④

【講評】

1867年のパリ万国博覧会に関する問題です。(A)の画像では、各国の君主たちに囲まれて中央の壇上に立つナポレオン3世の姿が描かれ、フランスの偉大さを国内外に宣伝しようとする意図が見てとれます。左端には東洋風の服装をした人物も配置され、ヨーロッパだけでなくアジアもフランスの影響下にあることが示唆されています。日本もこの万博に参加し、15代将軍慶喜の弟徳川昭武が使節として派遣されましたが、その随員にはのちの実業家、渋沢栄一も含まれていました。日本史と世界史の答案では問題によって正答率に差があり、日本史ではフランスの支配者をたずねた問1とイタリアの君主に関する問4の正答率が低め、世界史では明治維新前後の重要なできごとをたずねた問5の正答率が低めという結果になりました。

(III)

【解答】

問1 (a) ② (b) ④ (c) ① (d) ③ (e) ② (f) ④ (g) ①
(h) ③ (i) ③ (j) ② (k) ④ (l) ① (m) ② (n) ③
(o) ③ (p) ④

問2

(1) 古い時代のあり方を追慕していた後醍醐天皇は武家よりも公家を重用した。その一方でそれまでに醸成されていた慣習などは無視して、新たな政策を断行した。

(2) 1324 (3) 1338

【講評】

新しい学習指導要領の影響か、問2については(1)の論述問題が比較的良好にできていた一方で、(2)(3)の年号問題の正答率は著しく低かったです。

問1については、(g)の②の「綸旨」は院ではなく天皇の意向を伝える文書で、院の意向を伝える文書は「院宣」です。また(k)の④の『閑吟集』は田楽ではなく小歌の歌集と位置づけられています。

(IV)

【解答】

問1 (ア) 歌麿 (イ) 洒落本 (ウ) 寺子屋 (エ) 学制 (オ) 青鞥社
(カ) 新婦人

問2 (a) ① (b) ④ (c) ② (d) ② (e) ③ (f) ② (g) ①

問3 (A) ④ (B) ③ (C) ①

【講評】

記述式の設問では、(ア)の解答を「広重」とする誤答が目立ちました。喜多川歌麿と歌川広重を混同していると思われます。

マーク式の問2・問3は、問2の(a)・(c)、問3の(A)の正答率が低かったです。問2の(a)は、誤答として③を選ぶ割合が高かったですが、井伊直弼が暗殺されたのは二条城ではなく江戸城です。水戸藩について問うた(c)は、①を選ぶ誤答が多い傾向にありましたが、水戸徳川家は正しくは三家の一つです。

問3の(A)は、それぞれ(甲)が1923年、(乙)が1919年、(丙)が1924年の出来事です。普通選挙法成立に至るまでの流れを教科書でおさえておきましょう。

一般選抜3教科B方式 「歴史総合、世界史探究」

(I)

【解答】

問1 ③ 問2 ③ 問3 ① 問4 傾斜 問5-1 ① 問5-2 ③

【講評】

近代日本の産業化やエネルギーに関する問題です。問1は財閥である三菱に関する基本的な知識を問いました。各財閥について知識を整理しておきましょう。問2はワシントン会議の重要決定事項です。問3は正答率が低かったです。1941(昭和16)年は日本が米英などとの戦争に突入した重要な年です。①の国家総動員法はそれより前の日中戦争の拡大・長期化に対応するために1938年に制定されたものです。戦争拡大の流れと動きを押さえて

おいてほしいです。問4の傾斜生産方式は、敗戦後の日本の復興を考える際に重要な用語・概念です。問5の資料に関わる問題は、しっかり読んだ人は正解にたどり着けていました。

(II)

【解答】

(A) ⑤ (B) 問1 ④ 問2 ④ 問3 ② 問4 ④ 問5 ④

【講評】

1867年のパリ万国博覧会に関する問題です。(A)の画像では、各国の君主たちに囲まれて中央の壇上に立つナポレオン3世の姿が描かれ、フランスの偉大さを国内外に宣伝しようとする意図が見てとれます。左端には東洋風の服装をした人物も配置され、ヨーロッパだけでなくアジアもフランスの影響下にあることが示唆されています。日本もこの万博に参加し、15代将軍慶喜の弟徳川昭武が使節として派遣されましたが、その随員にはのちの実業家、渋沢栄一も含まれていました。日本史と世界史の答案では問題によって正答率に差があり、日本史ではフランスの支配者をたずねた問1とイタリアの君主に関する問4の正答率が低め、世界史では明治維新前後の重要なできごとをたずねた問5の正答率が低めという結果になりました。

(III)

【解答】

問1 ⑤ 問2 ③ 問3 建築物の周囲に礼拝を呼びかけるミナレットが建てられたこと
問4-1 ② 問4-2 ローマ教皇 問5-1 ①と④ [順不同] 問5-2 ③
問5-3 ①

【講評】

中世ヨーロッパの宗教・文化に関係した設問です。教会建築の様式についての基礎的な設問の問1、問2は良くできていましたが、細部を問うた問3には手こずった受験者もいたようです。職名を問うた問4-2では、人名を答えた答案がかなりありました。問5-2、問5-3は一見難しそうですが、人名の大まかな時代順を押さえておけば、正しい選択肢を選べるように作問してあります。

(IV)

【解答】

問1 ① 問2 ② 問3 ③ 問4 タージ=マハル 問5 ④
問6 人頭税(ジズヤ)の廃止 問7 ④ 問8 ③

【講評】

(III)のテーマはムガル帝国です。マークシート式と記述式のどちらも比較的よく解けていたことから、ムガル帝国についての基本的な理解ができているように感じました。記述式

のうち、問 6 のアクバルがヒンドゥー教徒に対する融和策として実施した税制上の政策をたずねる問題についても予想以上にできていました。

(V)

【解答】

問 1 ④ 問 2-1 ① 問 2-2 ② 問 3-1 モノカルチャー

問 3-2 ①と④ [順不同]

問 4-1 ソ連 (ソヴィエト連邦、ソヴィエト社会主義共和国連邦なども可)

問 4-2 ④ 問 4-3 ①

【講評】

(V) のテーマはラテンアメリカです。問 2-1 では 8 割近くがクリオーリョと答えられたのに、その意味を問われると正解率が 6 割台に下がっており、暗記した単語の意味を把握していない傾向がみられました。モノカルチャーの具体例を選択する問 3-2 では、受験生のほとんどがコーヒー豆のみ正解でした。硝石は難しかったと思いますが、問題文に「農産物や原料」と書かれているので、製品である生糸とチョコレートを除外すれば、正解が分かります。キューバ危機については問 4-2 の正解率が 6 割と伸び悩みました。今日の国際情勢を理解する上でも重要な出来事であり、しっかりと理解しておきましょう。